

第1章 中華の誕生——周・秦・漢

第1幕

殷・周と春秋戦国時代——徳か法か、あるいは道か

天道是か非か／「中国の見方1」中国は「中心」の文明／「中国の見方2」中国は「秩序」の文明、「政治」の文明／「中国の見方3」中国の歴史は「漢民族支配」か「異民族支配」に分かれる／「中国の見方4」中国の歴史は「統一の時代」か「分裂の時代」に分かれる／中国人の誕生／周／亡国の笑み／春秋と戦国の世相／動乱は如何にして加速したか／儒家の期待／法家の必罰／道家の諦観／「中国の見方5」中国の統治は「徳治」か「法治」に分かれる／変化は如何にしてもたらされたか／悲劇に見舞われる改革者／秦王政登場／秦王暗殺——計画／秦王暗殺——失敗／中国の統一と王翦の氣くばり

第2幕

秦と楚漢戦争——始皇より立つ

中国の始まり／「中国の見方6」中国の統治は「集権」で安定する／建設ラッシュ／崩壊の始まり／項羽と劉邦／鴻門の会——項羽大いに怒る／鴻

013

第3幕

漢と三国志の英雄たち——劉氏の器

門の会——豎子与に謀るに足らず／左遷／国士無双、韓信／韓信の躍進と葛藤／広武山の大演説／四面楚歌／垓下の戦い／項羽の最期／大風の歌

漢の創始（前漢）——無為にして治まる／兵どもが夢の跡／人豚事件／呂氏討伐／武帝——徳と法の融合／武帝——西域へと広がる視野／武帝——傾城・傾国／武帝——晩年の過ち／「中国の見方7」中国の政府は「権力」に関して巧み1（権力を「歴史」によって説明する）／漢の衰退／「中国の見方8」中国の統治は「分権（宦官・外戚・地方勢力）」で動揺する／「中国の見方9」中国の統治は「農民反乱」で崩壊する／宦官／外戚／農民反乱／漢の復興（後漢）——柔よく剛を制す／幼帝と宦官・外戚、負の連鎖／党錮の禁——渦巻く濁流／漢朝をどうするか／董卓の乱／曹操——乱世の奸雄／劉備——三顧の礼／孫権——江南の雄／長坂の戦い／諸葛亮の大論陣／大同盟、成る／赤壁の戦い——天下三分／鶻肋／曹操の評価／曹操の憂い

072

047

第2章◆中華の試練と復活——魏晋南北朝時代・隋と唐

第4幕 魏晋南北朝時代——人間らしさの追求

そして誰もいなくなった／中国の北方／「中国の見方10」中国の歴史は農耕民族と遊牧民族が担う（遊牧民族の特徴）／「中国の見方11」中国の歴史は農耕民族と遊牧民族が担う（遊牧民族の末路）／踏み込まれた中華／「中国の見方12」中国の人々は「移動」が得意／移動の結果／竹林の七賢／自由気ままな芸術家たち／道教の成立／仏教の魅力・仏教の難点

第5幕 隋・唐と五代十国——三つの女禍

隋／下の子は要領が良い／煬帝の功罪／暴君の末路／唐／創業の幹部たち／創業と守成／男を動かすのは女／禍の始まり／長孫氏から武氏へ／武后の禍／韋后の禍／我歌えば月徘徊す——李白／国際色豊かな時代／楊貴妃の禍／安祿山の登場／比翼の鳥、連理の枝／国破れて山河あり——杜甫／五代十国——武の時代／混乱の始まり

第3章◆中華と北方の攻防——宋と元・明と清

第6幕 宋と元——軟弱な中国・残虐なモンゴル

宋の太祖は介胄の中より起る／陳橋の変／中国の試験——文の時代／「中国の見方13」中国の統治は「エリート」が行い、「大衆」が覆す／経済の飛躍——金の時代／開封の街を歩く／平和をも金で買う／切り込む王安石／立ちはだかる司馬光／風流天子、徽宗／宋の背信と金の侵入／「中国の見方14」中国の政府は「権力」に関して巧み2（「権力」を「対立」によって掌握）／宋の再興——憂国の士、岳飛／千古の冤罪／「中国の見方15」中国の人々は「現実」を重視／中国に目を向けるモンゴル／南宋の滅亡——崖山の戦い／南宋の滅亡——歴史の光／バクス・モンゴリカ／「中国の見方16」中国の歴史は「農耕民族」と「遊牧民族」が担う（遊牧民族の成長）

明と清―最後の中華帝国―

極貧で醜男／独裁強化と大量粛清／コンプレックス／帝位の篡奪／後ろめたさとともに／首都となった北京／北虜南倭と財政困難・宦官の台頭／山海関での葛藤／清朝による制圧／康熙帝登場／中国の統一／忍び寄るヨーロッパ／名君の慟哭／清朝の中国統治――威圧策と懐柔策／「中国の見方17」中国の政府は「権力」に関して巧み3（「権力」を「アメ」によって維持）

中華の再建―啓蒙と救国―

ペラーのたそがれ／結局、何が残ったか

第一次世界大戦と中国／民衆の啓蒙／五・四運動――起つべきときはまさにいたる！／国共合作／革命いまだ成らず／北伐の始まり／国教分離――蔣介石と毛沢東／革命、成る／毛沢東の登場／毛沢東と農民／「中国の見方18」中国の人々は「大まか」な感覚／新たな敵／ラストエンペラーの夢想／再度の国共合作／日中戦争

第4章◆中華の崩壊と再建―辛亥革命

と中華人民共和国

中華の崩壊―押し寄せる帝国主義の波

イギリスが抱えた問題／清朝が抱えた問題／アヘン戦争／条件を整えたものの／アロー戦争／洋務運動／崩壊する中華世界／「眠れる獅子」は「死せる豚」だった／変法／変法の失敗／義和団事件／進退窮まる／孫文／計画／空想／辛亥革命／創造に欠けた理念／創造に欠けた武力／ラストエン

中華の復活に向けて―中国の夢

国共内戦／中華人民共和国の成立／初動／スターリンの死の波紋／百花斉放・百家争鳴／大躍進の愚／現場の情報が伝わらない！／誰も止められない／毛沢東、追いつめられる／揺れる世界／文化大革命の愚――爆発／文化大革命の愚――終息／不死鳥、鄧小平／真の大躍進に向けて／改革と開放／揺らぐ鄧小平体制／東欧革命の波紋／天安門事件前夜――鄧小平の決断／ゴルバチョフによる点火／趙紫陽の慟哭／天安門事件――流血

／鄧小平を継承した江沢民／鄧小平の指示／天安
門事件の反省／ややこしい中国の政治体制／胡錦
濤へと引き継がれる／2004年、サッカーアジ
アカップ／2005年、上海での反日運動／習近
平の登場／反腐敗キャンペーン／習近平の立ち位
置／「大国外交」の推進／「一帯一路」の提唱／
抱える国内の問題／「二つの百年」「中国の夢」

本書で述べた中国の見方